ぷかぷかコミューン

【ランドスケープとしての建築】

敷地は多紀連山の麓、丹波の自然と山の幸に恵まれた草山盆地にあります。
隣接する温泉施設とキャンプ場の休憩施設として、また地域の魅力を伝え、育てる場として計画した施設です。
1階には地域特産品の販売所、地域食材の加工場としてのシェアリングファクトリー、地元のパン屋さんが入った飲食のテイクアウト店があり、2階には360°どの方向にも美しい山々の景観が広がる風景を楽しめる屋外休憩スペースを計画しました。
まず建物ありきの計画ではなく、地域の里山の自然環境に倣ったランドスケープをつくり、建物もそのランドスケープの一部として存在するような在り方を考えました。
建物は架構形式そのものが現れて存在しており、建物中央に設けた穴からはきれいな空を眺める事ができ、穴から入ってくる時間と共に変化する美しい太陽の光が自然環境と建物とを繋げてくれています。
建物の構造形式は大きな通し柱を円周上に外側に18本、内側に９本並べ、内側と外側の架構を繋ぐ登り梁を放射状に配置しています。１階の壁を強固に固めることで、2階には壁のない周囲の美しい山々の風景をパノラマとして体験できる空間を創り出しました。
建物を取り巻くように円周上に設けたスロープや、南側谷方向の視界の広がる風景に向けて設置した大階段が大地と建物の自然な繋がりを生み出してくれており、景観的にも体験的にも地域の自然豊かな環境と一体となった人々が集う場が生まれたのではないかと考えています。

□使用木材リスト

一部大断面集成材（米松乾燥材、米国産地）を除き使用木材は全て兵庫県産材の桧を使用しています。